

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ホスピタリティサービスⅢ			
必修選択	選択	(学則表記)	ホスピタリティサービスⅢ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30	
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル 外国人でもよくわかる ホテル・旅館学習テキスト (特定技能測定試験対応)		出版社	一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 一般社団法人 海外人材開発推進機構		

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本におけるホスピタリティサービスの実践力を身につける				
到達目標	レストラン業務の基礎的な対応を実践できる ホテルフロント業務の基礎的な対応を実践できる				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ホスピタリティ論Ⅰ、ホスピタリティ論Ⅱ、ホスピタリティサービスⅠ、ホスピタリティサービスⅡ、 ホスピタリティサービスⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松井 洋介	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、1年次の復習、グループ分け、到達目標について
2	ロールプレイング①	宿泊施設におけるチェックイン対応
3	グループワーク・特定技能試験対策	チェックイン対応のロールプレイングについてグループワークを行い振り返り 特定技能試験対策 (宿泊・外食)
4	ロールプレイング②	宿泊施設における案内・接客対応
5	グループワーク・特定技能試験対策	案内・接客対応のロールプレイングについてグループワークを行い振り返り 特定技能試験対策 (宿泊・外食)
6	ロールプレイング③	宿泊施設におけるチェックアウト対応
7	グループワーク・特定技能試験対策	チェックアウト対応のロールプレイングについてグループワークを行い振り返り 特定技能試験対策 (宿泊・外食)
8	ロールプレイング④	宿泊施設におけるクレーム対応

9	グループワーク・特定技能試験対策	クレーム対応のロールプレイングについてグループワークを行い振り返り 特定技能試験対策（宿泊・外食）
10	ロールプレイング⑤	宿泊施設における急病人対応
11	グループワーク・特定技能試験対策	急病人対応のロールプレイングについてグループワークを行い振り返り 特定技能試験対策（宿泊・外食）
12	ロールプレイング⑥	宿泊施設における緊急避難対応
13	グループワーク・特定技能試験対策	緊急避難対応のロールプレイングについてグループワークを行い振り返り 特定技能試験対策（宿泊・外食）
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ホスピタリティサービスⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	ホスピタリティサービスⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル 外国人でもよくわかる ホテル・旅館学習テキスト (特定技能測定試験対応)		出版社	一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 一般社団法人 海外人材開発推進機構	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本におけるホスピタリティサービスの実践力を身につける				
到達目標	レストラン業務の基礎的な対応を実践できる ホテルフロント業務の基礎的な対応を実践できる				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ホスピタリティ論Ⅰ、ホスピタリティ論Ⅱ、ホスピタリティサービスⅠ、ホスピタリティサービスⅡ、 ホスピタリティサービスⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松井 洋介	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、グループ分け、到達目標について
2	ロールプレイング①	レストランにおける受付～オーダーまでの対応
3	グループワーク	受付～オーダーまでの対応のロールプレイングについてグループワーク 再ロールプレイング
4	ロールプレイング②	レストランにおける注文に応じたセッティングと配膳の対応
5	グループワーク	注文に応じたセッティングと配膳の対応のロールプレイングについてグループワーク 再ロールプレイング
6	ロールプレイング③	レストランにおけるお見送り～片付け対応
7	グループワーク	お見送り～片付け対応のロールプレイングについてグループワーク 再ロールプレイング
8	ロールプレイング④	レストランにおけるクレーム対応

9	グループワーク	レストランにおけるクレーム対応のロールプレイングについてグループワーク 再ロールプレイング
10	ロールプレイング⑤	レストランにおける急病人対応
11	グループワーク	急病人対応のロールプレイングについてグループワーク 再ロールプレイング
12	ロールプレイング⑥	レストランにおける緊急避難対応
13	グループワーク	緊急避難対応のロールプレイングについてグループワーク 再ロールプレイング
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスマナーⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	留学生のためのビジネスマナードリルブック ビジネスマナー基礎実習 新版		出版社	カットシステム 早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本におけるビジネスマナー知識を身につける				
到達目標	ビジネスとコミュニケーションの基本ポイントを述べることができる				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビジネスマナーⅠ、ビジネスマナーⅡ、ビジネスマナーⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	増崎 薫	実務経験	○		
実務内容	客室乗務員20年、大学病院眼科教授秘書の勤務経験をもとに、日本におけるビジネスマナー知識を身につけられよう教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 声出し	授業の流れ、到達目標について 五十音の発声練習
2	指示の受け方・報告のしかた	基礎問題
3		応用問題
4		実践問題
5	言葉遣い	基礎問題
6		応用問題
7		実践問題
8	復習	これまでの復習、テスト

9		基礎問題
10		ケースワーク①
11	電話応対	応用問題
12		ケースワーク②
13		実践問題
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスマナーⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	留学生のためのビジネスマナードリルブック ビジネスマナー基礎実習 新版		出版社	カットシステム 早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本におけるビジネスマナー知識を身につける				
到達目標	ビジネスとコミュニケーションの基本ポイントを述べることができる				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビジネスマナーⅠ、ビジネスマナーⅡ、ビジネスマナーⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	増崎 薫	実務経験	○		
実務内容	客室乗務員20年、大学病院眼科教授秘書の勤務経験をもとに、日本におけるビジネスマナー知識を身につけられよう教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、ビジネスマナーⅠの振り返りについて
2	受付と訪問	基礎問題
3		ケースワーク
4		応用問題
5		ケースワーク
6		実践問題
7		テスト、振り返り

8	ビジネス文書	基礎問題
9		ケースワーク
10		応用問題
11		ケースワーク
12		実践問題
13		テスト、振り返り
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	国際経済学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	国際経済学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	① 池上彰のやさしい経済学 ② ど素人でもわかる 経営学の本		出版社	日本経済新聞出版 株式会社翔泳社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国と国との間で、物やサービス、お金、人がどのように動いているかを理解することができる 経済学・経営学に必要な経済・経営用語を理解できる				
到達目標	各国の経済制度やルールを理解することができる 日常生活の出来事と関連付けて理解することができる				
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	会計基礎、会計実践、経営学Ⅰ、経営学Ⅱ、マーケティングⅠ、マーケティングⅡ、国際経済学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野崎 寿子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	chapter. 4 「資本主義は失業者を生み出す」マルクス	カール・マルクスの『資本論』とは？ 1. 資本主義への疑問を提示したのがマルクスの「資本論」。 2. 賃金の値段は、生活するために必要な「再生産費」がもとになっている。 3. 格差を生み出す資本主義に対抗して平等な社会を目指す共産主義革命が起きた。
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

9		
10		
11	chapter. 5	
12	公共事業で景気回復 ケインズ	ケインズの「景気対策」とは？ 1. ケインズは、国家による財政支出で景気をよくするしくみを考えた。 2. 世界恐慌に対してルーズベルト大統領は、ケインズ理論を使った「ニューディール政策」をとった。 3. ケインズ政策によって恐慌は回避されたが、ものの値段が上がるインフレや国家の財政赤字にもつながった。
13		
14		
15	まとめ、テスト	chapter. 5～chapter. 6の復習問題の実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	国際経済学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	国際経済学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	・池上彰のやさしい経済学 ・ど素人でもわかる 経営学の本		出版社	日本経済新聞出版 株式会社翔泳社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国と国との間で、物やサービス、お金、人がどのように動いているかを理解することができる 経済学・経営学に必要な経済・経営用語を理解できる				
到達目標	各国の経済制度やルールを理解することができる 日常生活の出来事と関連付けて理解することができる				
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	会計基礎、会計実践、経営学Ⅰ、経営学Ⅱ、マーケティングⅠ、マーケティングⅡ、国際経済学Ⅰ、				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野崎 寿子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	chapter. 6 「お金の量」が問題だ フリードマン	フリードマン「新自由主義」とは？ 1. ケインズ経済学を否定する形で生まれたのが、自由な市場を目指すフリードマンの新自由主義 2. 国家は市場に介入すべきではないとして、社会保障制度や医療保険制度も必要ないと主張した 3. 日本でも銀行、証券会社、保険会社などの規制を取り払う政策がとられ、派遣労働の促進につながった
2		
3		
4		
5		
6		
7		

8		
9		
10	chapter. 7	リカードの「自由貿易」とは？
11	自由貿易と保護貿易で	1. 経済の発展には、世界市場での自由貿易がなくてはならない
12	揺れる世界 比較優位	2. 世界恐慌をきっかけに自国の経済を守る保護貿易が出てきた 3. 自由貿易の拡大が進んでいるが、コロナ危機やロシアのウクライナ侵攻、米中対立などで再び保護主義に
13		
14		
15	総まとめ・テスト	各chapterの総まとめ、テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ホテルマネジメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルマネジメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	基礎から学ぶ ホテルの概論		出版社	ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテルサービス、マネジメントの基礎知識を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの概念を理解できる ・ホテル運営の基礎対応を実践できる 				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ホテルマネジメントⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	阿部 広	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、ホテルについて
2	ホテルの分類	機能別、グレード別、資本形態別、経営の形態別によるホテルの分類
3		
4	ホテルの発達の歴史	ヨーロッパ、アメリカのホテル、日本のホテルの歴史
5		
6	ホテル産業の特徴	ホテル商品の特殊性、ホテルを構成する3要素、ホテルの社会的役割
7		

8	中間試験	復習と試験
9	ホテル産業の特徴	ホテル組織各種部門の役割
10		
11		
12	宿泊部門の基礎知識	客室、宿泊料金、受付対応
13		
14		
15	期末試験	総復習と試験

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ホテルマネジメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルマネジメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	基礎から学ぶ ホテルの概論		出版社	ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテルサービス、マネジメントの基礎知識を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの概念を理解できる ・ホテル運営の基礎対応を実践できる 				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ホテルマネジメントⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	阿部 広	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、ホテルマネジメントⅠについて
2	料理部門の基礎知識	料飲施設の種類、レストランの食事、各国料理、ビバレッジについて
3		
4	宴会の基礎知識	一般宴会、婚礼宴会、パーティーの形式宴会における仕事内容
5		
6	ホテルスタッフに求められる能力	ホテルスタッフの基礎的知識、対応求められる資質・能力ホスピタリティとは
7		

8	中間試験	復習と試験
9	ホテルを取り巻く環境	旅行会社との関わり高級化と低価格化
10		
11	ホテルの社会的責任	ホテル・旅館に関わる法律、防災、個人情報について
12		
13	これからのホテル	求められるサービス、ターゲット、コンセプトの明確化について
14		
15	期末試験	総復習と試験

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスプレゼンテーションⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスプレゼンテーションⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて、自己開示・自己分析の方法を理解する 傾聴力・思考力・表現力を身につける				
到達目標	自分自身を理解し、自己分析ができる 身につけた表現力を活かし、人前で堂々と話すことができる				
評価基準	発表：60% 小テスト：20% 提出物：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビジネスプレゼンテーションⅠ、ビジネスプレゼンテーションⅡ、ビジネスプレゼンテーションⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	田中 玲央 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション プレゼンテーションとは	授業の概要について 傾聴（アクティブリスニング）について
2	話す時の心構えと基本	思考力と表現力について
3		
4	表情（表現力）	第一印象（メラビアンの法則）と表情について 即題スピーチについて
5		
6	思考力①	思考力について ストーリー構成の型について
7		

8	思考力②、表現力	PREP法について show&tellについて
9		
10	自己分析	自己分析について
11		
12	ディスカッション	グループディスカッションについて
13		
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り、総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスプレゼンテーションⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスプレゼンテーションⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて、業界研究を行い人前で発表する力を身につける 傾聴力・思考力・表現力を身につける				
到達目標	業界理解・研究により知識を深めることができる 身につけた表現力を活かし、人前で堂々と話すことができる				
評価基準	発表：60% 小テスト：20% 提出物：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビジネスプレゼンテーションⅠ、ビジネスプレゼンテーションⅡ、ビジネスプレゼンテーションⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	田中 玲央 他2名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の概要について ビジネスプレゼンテーションⅠの復習について
2	業界・職種・仕事内容 研究①	業界、職種、仕事内容の研究について①
3		
4	業界・職種・仕事内容 研究②	業界、職種、仕事内容の研究について②
5		
6	業界・職種・仕事内容 研究③	業界、職種、仕事内容の研究について③
7		

8		
9	業界・職種・仕事内容 研究④	業界、職種、仕事内容の研究について④
10		
11	業界・職種・仕事内容 研究⑤	業界、職種、仕事内容の研究について⑤
12		
13	まとめ	思考力、表現力評価 他者評価について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り、総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネス外国語Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネス外国語Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	30
使用教材	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル 全パート標準編		出版社	桐原書店	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネス外国語、特に英語を意識し、一つ上の英語の活用を目指す				
到達目標	TOEIC L&Rを受験することで英語スキルの証拠とする				
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	橋本圭介	実務経験	○		
実務内容	留学経験 留学生への英語指導、入国管理支援などの経験をもとに、接客を基本とする特に英語ではどのような表現するのが自然で適切なのかを理解できるよう教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ガイダンス・プレイズメントテスト	授業の進め方と、現状の英語の力を過去のTOEICテストから測定する。
2	Day 1 人物の動作表現 p.26	学びのポイント：人物の描写表現、「動作」「位置」の表現、動作表現の聴き取り、テスト形式
3	Day 2 物に関する描写 p.30	学びのポイント：物に関する描写、現在完了形と現在進行受動態、状態や位置関係の表現の聴き取り
4	Day 3 疑問詞で始まる疑問文 p.34	学びのポイント：人物描写、聴く力、概要理解、質問応答のパターン
5	Day 4 Yes/No 疑問文・選択疑問文 p.38	学びのポイント：内容の聴き取り、Q&A、概要理解、質問応答のパターン
6	Day 5 ステートメント・付加疑問文 p.42	学びのポイント：内容の聴き取り、Q&A、応答のパターン、質問応答のパターン
7	Day 6 中間まとめ(Review)	Day 1～Day 5 の内容を振り返る
8	Day 7 品詞・代名詞 p.50	学びのポイント：品詞・代名詞の用法、正しい語句選択、間違直し、英作文

9	Day 8 態・分詞 p.54	学びのポイント：能動態と受動態、正しい語句選択、間違直し、英作文
10	Day 9 接続詞・前置詞 p.58	学びのポイント：接続詞と前置詞、正しい語句選択、間違直し、英作文
11	Day 10 語彙問題・その他 p.62	学びのポイント：単語の組合せ、正しい前置詞、間違直し、正確に読み取る
12	Day 11 店・ホテルでの会話 p.70	学びのポイント：店や駅での購入／商品の交換／ホテル予約／不動産業者とのやり取り
13	Day 13 日常生活における会話 p.74	学びのポイント：商品配達の依頼・確認／問題の報告／価格の見積もり
14	Day 14 オフィスでの会話① p.78	学びのポイント：予約変更／会議の内容確認／問題解決法／調査結果
15	Day 7-14 Review	ペーパーテストを基本とする。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネス外国語Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネス外国語Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	30
使用教材	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル 全パート標準編		出版社	桐原書店	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネス外国語、特に英語を意識し、一つ上の英語の活用を目指す				
到達目標	TOEIC L&Rを受験することで英語スキルの証拠とする				
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	橋本圭介	実務経験		○	
実務内容	<p>留学経験 留学生への英語指導、入国管理支援などの経験をもとに、接客を基本とする特に英語ではどのような表現するのが自然で適切なかを理解できるよう教授する。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Day15 オフィスでの会話2	学びのポイント：資料の確認/作業進捗の確認/会議内容の確認
2	Day16 図表問題と意図問題	学びのポイント：図表問題と意図問題の解き方を確認する 図表問題練習 Q&A、詳細を聞き取る
3	Day17 留守番電話	学びのポイント：予定変更の通知/行動の依頼/注文確認/決定事項の伝達
4	Day18 アナウンス・宣伝	学びのポイント：店内アナウンス/イベントの予定変更/セールsの宣伝/新規開店の宣伝
5	Day19 トーク(会議・イベント)	学びのポイント：改装のお知らせ/授賞式/人物紹介/ツアーガイド
6	Day20 ニュース・ラジオ放送	学びのポイント：企業合併/工場のオープンと閉鎖/人物紹介/天気予報/交通情報
7	Day21 Day 12~Day 20の復習	
8	Day22 読解の基礎を身につける	学びのポイント：文章の流れを知る、本文を読んで該当するものを書き出す、言い換え表現、文章の目的と同義語の特定、チャット攻略
9	Day23 詳細情報を特定する	学びのポイント：段落の構造を知ろう、本文に該当選択、本文内容の関連づけ、必要な情報と同義語を特定

10	Day24 話の展開を読み取る	学びのポイント：文書の流れを知る、話の展開に合う文を選ぶ、論理的な読み方、話の展開を理解する
11	Day25 内容把握問題に挑戦する	学びのポイント：記事の読み方、本文該当、語彙問題、本文内容と関連
12	Day26 マルチプルパッセージ (2つの文書)	学びのポイント：情報を組み合わせて正確に読み取る、情報を探して質問に答える
13	Day27 マルチプルパッセージ (3つの文書)	学びのポイント：情報を組み合わせて正確に読み取る、情報を探して質問に答える
14	Day28 時制・代名詞・語彙	学びのポイント：特有の文法問題、正しい語句選択、正しい時制と語彙の選択
15	総まとめ 期末テスト	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	日本語表現法Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	日本語表現法Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	45
使用教材	1回で合格！日本語能力試験N2文法 1回で合格！日本語能力試験N2語彙 1回で合格！日本語能力試験N2読解 1回で合格！日本語能力試験N2漢字 必勝合格！JLPT日本語能力試験完全模試N2		出版社	ナツメ社 Jリサーチ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	語彙・文法・読解・聴解力を高め、日本語能力試験N2の合格を目指す				
到達目標	【聴解】 会話の内容を理解し、日本語能力試験合格のため、聴解力の向上を目指す 【文法】 文法や表現、意味・かたち・用法を理解し、日本語能力試験合格のため、文法力の向上を目指す 【語彙】 語彙の読み書き、意味・用法を理解し、日本語能力試験合格のために語彙力の向上を目指す 【読解】 文章を早く、正確に理解できるようになり、日本語能力試験合格のために読解力の向上を目指す				
評価基準	テスト70%、課題提出/平常30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本語能力試験N2・N3				
関連科目	介護基礎、ホスピタリティサービスⅠ、ホスピタリティ論Ⅰ、ビジネスマナーⅠ、経営学Ⅰ、マーケティングⅠ、会計基礎、 ビジネスプレゼンテーションⅠ、ビジネス外国語Ⅰ、異文化コミュニケーションⅠ、日本の文化Ⅰ、パソコン演習Ⅰ、ペン字 Ⅰ、就職対策Ⅰ、未来デザインプログラムⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	志垣 由起美 他2名	実務経験	○		
実務内容	客室乗務員17年間の勤務経験をもとに、日本におけるホスピタリティ精神の基礎知識を身につけられるよう教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション N3模試の実践	この講座の目的や到達目標などの共通理解 模試を通して自身の日本語レベルを知る
2	語彙①	語彙（家族・生活・身体）について
3	文法①	文法（接続で使われる表現）について
4	読解①	読解（指示語・接続語・因果関係）について
5	漢字①と聴解①	漢字（数字・体・学校）と聴解問題

6	語彙②	語彙（健康・感情・性格）について
7	文法②	文法（文の最後で使われる表現）について
8	読解②	読解（言い換え・キーワード・理由）について
9	漢字②と聴解②	漢字（地名・家族・転校）と聴解問題
10	語彙③	語彙（交通・自然・学校）について
11	文法③	文法（名詞・動詞・形容詞とともに使われる表現）について①
12	読解③	読解（対比・比喻・比較・演習問題）について
13	漢字③と聴解③	漢字（形の似ている漢字・動物・「口」を含む漢字）と聴解問題
14	前期試験	第1～14回の総まとめ
15	総まとめと復習	前期試験を元に復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	日本語表現法Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	日本語表現法Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	45
使用教材	1回で合格！日本語能力試験N2文法 1回で合格！日本語能力試験N2語彙 1回で合格！日本語能力試験N2読解 1回で合格！日本語能力試験N2漢字 必勝合格！JLPT日本語能力試験完全模試N2		出版社	ナツメ社 Jリサーチ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	語彙・文法・読解・聴解力を高め、日本語能力試験N2の合格を目指す				
到達目標	【聴解】 会話の内容を理解し、日本語能力試験合格のため、聴解力の向上を目指す 【文法】 文法や表現、意味・かたち・用法を理解し、日本語能力試験合格のため、文法力の向上を目指す 【語彙】 語彙の読み書き、意味・用法を理解し、日本語能力試験合格のために語彙力の向上を目指す 【読解】 文章を早く、正確に理解できるようになり、日本語能力試験合格のために読解力の向上を目指す				
評価基準	テスト70%、課題提出/平常30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本語能力試験N2・N3				
関連科目	介護実践、ホスピタリティサービスⅡ、ホスピタリティ論Ⅱ、ビジネスマナーⅡ、経営学Ⅱ、マーケティングⅡ、会計実践、ビジネスプレゼンテーションⅡ、ビジネス外国語Ⅱ、異文化コミュニケーションⅡ、日本の文化Ⅱ、パソコン演習Ⅱ、ペン字Ⅱ、就職対策Ⅱ、未来デザインプログラムⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	志垣 由起美 他2名	実務経験	○		
実務内容	客室乗務員17年間の勤務経験をもとに、日本におけるホスピタリティ精神の基礎知識を身につけられるよう教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション N2模試の実践	この講座の目的や到達目標などの共通理解 模試を通して自身の日本語レベルを知る
2	語彙④	語彙（行事・娯楽・仕事）について
3	文法④	文法（助動詞・助詞を使う表現）について
4	読解④	読解（文章全体に注目する）について
5	漢字④と聴解④	漢字（目・日を含む漢字・行動・イを含む漢字）と聴解問題

6	語彙②	語彙（コンピューター・政治・経済）について
7	文法②	文法（助動詞・助詞を使う表現）について
8	読解②	読解（文の種類に注目する）について
9	漢字②と聴解②	漢字（木・付・反・皮を含む漢字・心の動きに関わる漢字）と聴解問題
10	語彙③	語彙（抽象語・カタカナ語）について
11	文法③	文法（その他の表現）について①
12	読解③	読解（電子メール・告示文）について
13	漢字③と聴解③	漢字（ウ冠・竹・草・病気に関する漢字）と聴解問題
14	前期試験	第1～14回の総まとめ
15	総まとめと復習	前期試験を元に復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅲ		
開講					
年次	2年	学科	国際ビジネス科	単位数	1
使用教材	パソコン技能検定 対策問題集 3級	出版社	ユアサポート		
	パソコン技能検定 対策問題集 2級				

科目の基礎情報②

授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける また、Word・Excelの操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける				
到達目標	パソコン技能検定3級で求められる文字数（350字/10分）を入力できる				
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習Ⅰ、パソコン演習Ⅱ、パソコン演習Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野溝 千鶴 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・概要・タッチタイピング	授業のねらい・年間の授業予定等説明・検定について・タッチタイピングの方法と必要性について Windowsの基本操作・タッチタイピング（ホームポジション）の練習
2	タッチタイピング Wordの基礎・基本入力	タッチタイピング（上段/下段）の練習・入力問題実施 変換、文節区切りの変更、再変換、ファンクションキー、記号と特殊文字、手書き入力（IMEパッド）について
3	入力練習 ビジネス文書の基本	入カスピード練習（10分）、フォント、フォントサイズ、文字修飾、コピー、貼り付け、切り取りについて ビジネス文書の基本型と入力の仕方を学ぶ
4	表作成	入カスピード練習（10分） 表作成の説明について
5	文書作成①	入カスピード練習（10分） 文書作成問題練習
6	文書作成②	入カスピード練習（10分） 文書作成問題練習
7	文書作成③	入カスピード練習（10分） 文書作成問題練習
8	パソコンの知識①	入カスピード練習（10分） 学科問題に必要なパソコン知識の説明

9	パソコンの知識②	入カスピード練習 (10分) コンピュータ関連知識の説明
10	テスト (Word)	入力問題・文書作成問題の実施
11	Excelの概要・データ入力	入カスピード練習 (10分) Excelの初期画面、基本データ入力、オートフィル機能、罫線、四則計算について
12	Excel基本復習、基本的な関数	入カスピード練習 (10分) Excel基本復習・SUM、AVERAGE、MAX、MIN、絶対参照について
13	グラフ	入カスピード練習 (10分) グラフの作成・グラフ要素について
14	表計算練習①	入カスピード練習 (10分) 表作成問題練習
15	表計算練習②	入カスピード練習 (10分) 表作成問題練習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅳ			
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅳ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30	
使用教材	パソコン技能検定 対策問題集 3級	出版社	ユアサポート			
	パソコン技能検定 対策問題集 2級					

科目の基礎情報②

授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける また、Word・Excelの操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける				
到達目標	パソコン技能検定3級で求められる文字数（350字/10分）を入力できる				
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習Ⅰ、パソコン演習Ⅱ、パソコン演習Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野溝 千鶴 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定に向けて・前期復習	検定試験の実施手順・数式印刷の説明 入力問題、文書作成問題、表計算問題
2	パソコン検定3級対策①	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
3	パソコン検定3級対策②	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
4	パソコン検定3級対策③	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
5	パソコン検定3級対策④	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
6	パソコン検定3級対策⑤	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
7	パソコン検定3級対策⑥	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
8	Wordのいろいろな機能①	入カスピード練習（10分） 図形・ワードアート・画像について

9	Wordのいろいろな機能2	入カスピード練習 (10分) 段組み、ドロップキャップ、割注について
10	Excelのいろいろな関数①	入カスピード練習 (10分) COUNT、RANK.EQ、ROUND、IFについて
11	Excelのいろいろな機能②	入カスピード練習 (10分) 条件付き書式、複合グラフについて
12	テスト (Excel)	入カスピード練習 (10分) Excelの確認テスト・表計算問題練習
13	PowerPointの操作①	PowerPointについての基本操作について
14	PowerPointの操作②	画面切り替え、アニメーション、ハイパーリンクについて
15	PowerPoint作成	PowerPoint作成練習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNS・動画編集Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	SNS・動画編集Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①SNSなどの活用における個人情報の取り扱いについて学ぶ ②PCを用いた動画編集スキルを学ぶ				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の重要性を知り、SNSの使用できる方法を学ぶ ・写真撮影や動画編集スキルを学び、アウトプットできる力を身につける ・保育技術を動画編集を用いて発信できるスキルを身につける 				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	SNS・動画編集Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	二渡 史穂 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	授業ガイダンス	オリエンテーション・個人情報
2		
3	SNSについて	SNS/WEBを学ぶ (Twitter・Instagram・YouTube・HP・著作権・肖像権・個人情報など)
4		
5	SNS配信について	SNS/WEBでの写真アップ・動画配信方法を学ぶ
6		
7	動画編集方法	動画編集を学ぶ (Filmoraの使い方)
8		

9	動画編集①	動画作成①（作品をデータ化・取り込み）
10		
11	動画編集①	
12		
13	動画編集①	動画作成②（文字入れ・アニメーションを入れる）
14		
15	動画編集①	
16		
17	動画編集①	動画作成③（音声の入れ方）
18		
19	動画編集①	
20		
21	動画編集①	動画作成④（全体編集）
22		
23	動画編集①	
24		
25	動画編集①	発表
26		
27	動画編集①	反省をふまえ・動画の改善・配信（YouTubeやInstagramなど）準備
28		
29	動画編集①	授業の振り返り（前期まとめ）
30		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNS・動画編集Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	SNS・動画編集Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	30
使用教材	-		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①SNSなどの活用における個人情報の取り扱いについて学ぶ ②PCを用いた動画編集スキルを学ぶ				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の重要性を知り、SNSの使用できる方法を学ぶ ・写真撮影や動画編集スキルを学び、アウトプットできる力を身につける ・保育技術を動画編集を用いて発信できるスキルを身につける 				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	SNS・動画編集Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	二渡 史穂 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	写真撮影	写真撮影について学ぶ ※カメラマンなどからの授業
2		
3	写真撮影	校内にて写真撮影・動画撮影の練習
4		
5	写真撮影	学校内、学校周辺にて写真撮影実施
6		
7	動画編集②	学校内、学校周辺にて動画撮影実施
8		
9	動画編集②	動画編集における写真及び動画の精査
10		
11	動画編集②	撮影した写真・動画の編集①
12		

13	動画編集②	撮影した写真・動画の編集②
14		
15	動画編集②	撮影した写真・動画の編集③
16		
17	動画編集②	撮影した写真・動画の編集④
18		
19	動画編集②	中間発表
20		
21	動画編集②	動画編集・再編集①
22		
23	動画編集②	動画編集・再編集②
24		
25	動画編集②	完成版動画発表
26		
27	動画編集②	撮影した動画を提供・教員などへ配信
28		
29	まとめ	学習の振り返り
30		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	就職対策Ⅲ			
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	45	
使用教材	外国人留学生のための就職活動テキスト 第2版 特定技能1号試験学習用テキスト		出版社	インプレス 一般社団法人日本フードサービス協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動の準備や働くことに対する意識を醸成する 現場をイメージできる実習への準備をする				
到達目標	就職活動における課題を発見し、今後の課題や授業への取り組み方を深めていく すぐに就職活動が出来る状態(身だしなみ・履歴書・面接・意欲等)になっている				
評価基準	授業態度：30% テスト：40% 提出物：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ、就職対策Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	瀬下 弘基 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	就職対策の授業の位置付け説明
2	マナーと身だしなみ①	第一印象と挨拶
3		
4	マナーと身だしなみ②	TPOに合った服装、清潔感のある身だしなみ
5		
6	マナーと身だしなみ③	ルールとマナー
7		

8	就職活動の流れ①	就職活動の第一歩、入社までの流れ
9		
10	就職活動の流れ②	日本企業のビジネス文化
11		
12	就職活動の流れ③	就労関係の在留資格
13	就職活動の流れ④	採用方式、就職活動スケジュール
14		
15	まとめ	振り返り、後期の目標設定

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	45
使用教材	外国人留学生のための就職活動テキスト 第2版 特定技能1号試験学習用テキスト		出版社	インプレス 一般社団法人日本フードサービス協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動の準備や働くことに対する意識を醸成する 現場をイメージできる実習への準備をする				
到達目標	就職活動における課題を発見し、今後の課題や授業への取り組み方を深めていく すぐに就職活動が出来る状態(身だしなみ・履歴書・面接・意欲等)になっている				
評価基準	授業態度:30% 履歴書の完成度、レポートの作成等:70%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ、就職対策Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	瀬下 弘基 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	仕事の探し方①	求人情報の探し方、募集要項の見方
2		
3	仕事の探し方②	選考に必要な書類、提出する書類
4		
5	仕事の探し方③	履歴書の書き方
6		
7	仕事の探し方④	履歴書の書き方(実践)
8		

9		
10	業界研究・企業研究①	業界研究の方法
11		
12		
13	業界研究・企業研究②	企業研究の方法
14		
15	まとめ	振り返り、進級後の目標設定

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	観光プロデュースⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	観光プロデュースⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	留学生のための観光学入門		出版社	晃洋書房	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本の観光業の基礎的な知識を学ぶ				
到達目標	日本の観光に関わる基礎的な知識を学び、宿泊業等で働く上での最低限の内容を答えられるようにする				
評価基準	グループ発表70%、課題提出/平常30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	観光プロデュースⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 斐子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・観光とは	観光とは・観光の歴史について学ぶ
2	インバウンド・アウトバウンド	日本の観光政策・インバウンドアウトバウンドの違い・オーバーツーリズムについて学ぶ
3	インバウンドと観光	インバウンド・免税制度について学ぶ
4	観光と輸送機関①	鉄道・ケーブルカー・ロープウェイ・登山列車について学ぶ
5	観光と輸送機関②	飛行機・客船と観光について学ぶ
6	観光と宿泊業	宿泊業の成り立ち～近年の宿泊施設の変化までを学ぶ
7	観光と観光施設①	博物館・美術館・動物園・水族館について学ぶ
8	観光と観光施設②	観光レクリエーション施設・遊園地・テーマパーク・日本のタワーについて学ぶ

9	観光と旅行業	観光と旅行業について学ぶ
10	1泊2日の旅行を計画しよう①	チームで日本国内の1泊2日の旅行を計画をする
11	1泊2日の旅行を計画しよう②	
12	1泊2日の旅行を計画しよう③	
13	発表①	1泊2日の旅行をグループごとに発表する
14	発表②	
15	振り返り	前期の授業を振り返る

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	観光プロデュースⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	観光プロデュースⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	留学生のための観光学入門		出版社	晃洋書房	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本の観光業の基礎的な知識を学ぶ				
到達目標	日本の観光に関わる基礎的な知識を学び、宿泊業等で働く上での最低限の内容を答えられるようにする				
評価基準	個人発表70%、課題提出/平常30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	観光プロデュースⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 斐子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ニューツーリズム①	産業観光・グリーンツーリズムについて学ぶ
2	ニューツーリズム②	ダークツーリズム・文化観光について学ぶ
3	観光と情報①	各種観光情報メディアについて学ぶ
4	観光と情報②	
5	観光まちづくり	実例を通して観光まちづくりについて学ぶ
6	日本の観光資源①	自然資源・人文資源について学ぶ
7	日本の観光資源②	寺院・神社・その他の歴史的建造物について学ぶ
8	日本の観光資源③	都市・街並み・日本の四季・お祭りについて学ぶ

9	日本の観光資源④	世界遺産・国立公園・国定公園について学ぶ
10	観光ガイドブックを作ろう①	個人で好きな都道府県の観光ガイドブックを作成する
11	観光ガイドブックを作ろう②	
12	観光ガイドブックを作ろう③	
13	発表①	一人ずつ発表する
14	発表②	
15	振り返り	後期の授業を振り返る

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	時事研究Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	時事研究Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	2025ニュース検定公式テキスト & 問題集3・4級		出版社	毎日新聞出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本・日本を取り巻く世界の時事問題を学ぶ				
到達目標	日本・日本を取り巻く世界の時事問題を学び、日本で働く上で役に立つ時事についての知識を備え、日常生活および社会活動において役立てていく				
評価基準	課題・テスト70%、授業態度や発言等の平常点30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	観光プロデュースⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	池田 和司	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・観光とは	オリエンテーション 学ぶ5つの分野・戦後80年・グラフ読解のツボについて学ぶ
2	政治①	民主主義について学ぶ
3	政治②	日本国憲法について学ぶ
4	政治③	外交と防衛について学ぶ
5	政治④	地方自治について学ぶ
6	経済①	日本経済の動向について学ぶ
7	経済②	世界経済の動向について学ぶ
8	経済③	日本産業について学ぶ

9	経済④	エネルギーの今後について学ぶ
10	暮らし①	日本の人口について学ぶ
11	暮らし②	社会保障について学ぶ
12	暮らし③	働くということについて学ぶ
13	暮らし④	新しい消費について学ぶ
14	振り返り（練習問題）	第2回～第13回の内容を振り返る
15	振り返り	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	時事研究Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	時事研究Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	1	15
使用教材	2025ニュース検定公式テキスト&問題集3・4級		出版社	毎日新聞出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本・日本を取り巻く世界の時事問題を学ぶ				
到達目標	日本・日本を取り巻く世界の時事問題を学び、日本で働く上で役に立つ時事についての知識を備え、日常生活および社会活動において役立てていく				
評価基準	課題・テスト70%、授業態度や発言等の平常点30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	観光プロデュースⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	池田 和司	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会・環境①	・オリエンテーション ・子どもと教育について学ぶ
2	社会・環境②	社会での共生について学ぶ
3	社会・環境③	司法について学ぶ
4	社会・環境④	情報社会について学ぶ
5	社会・環境⑤	いのちと科学について学ぶ
6	社会・環境⑥	災害について学ぶ
7	社会・環境⑦	地球環境について学ぶ
8	国際①	2大国について学ぶ

9	国際②	国連と世界秩序の乱れについて学ぶ
10	国際③	核兵器と世界について学ぶ
11	新聞を読みみよう①	日本の新聞から時事を捉える
12	新聞を読みみよう②	
13	新聞を読みみよう③	
14	振り返り（練習問題）	第2回～第10回の内容を振り返る
15	振り返り	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	卒業研究Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	卒業研究Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	30
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国際ビジネスに関するテーマを自ら設定し、調査・分析・考察を行い、研究成果を論文としてまとめることを目的とする				
到達目標	国際ビジネスに関する課題を自ら設定できる 適切な調査方法を用いてデータを収集・分析できる 論理的な構成で研究成果を文章化し、発表できる 異文化理解を踏まえた国際的なビジネス課題の考察ができる				
評価基準	発表70%、授業態度や発言等の平常点30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	経営学Ⅰ・Ⅱ、マーケティングⅠ・Ⅱ、国際経営学Ⅰ・Ⅱ、時事研究Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	瀬下 弘基 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	卒業研究の目的と進め方について
2	テーマ設定に向けて①	テーマ設定をするための調べ学習を行う
3	テーマ設定に向けて②	
4	テーマ設定と研究計画書	テーマを設定し計画書を作成する

5	個人ワーク①	個人で調べ学習をしながらプレゼンテーション資料をまとめる
6	個人ワーク②	
7	個人ワーク③	
8	個人ワーク④	
9	個人ワーク⑤	
10	個人ワーク⑥	
11	発表①	一人ずつ発表し、学生同士でフィードバックをしあう
12	発表②	
13	発表③	
14	発表④	
15	振り返り	全体の卒業研究に対して振り返り、フィードバックを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	卒業研究Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	卒業研究Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	2	30
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国際ビジネスに関するテーマを自ら設定し、調査・分析・考察を行い、研究成果を論文としてまとめることを目的とする				
到達目標	国際ビジネスに関する課題を自ら設定できる 適切な調査方法を用いてデータを収集・分析できる 論理的な構成で研究成果を文章化し、発表できる 異文化理解を踏まえた国際的なビジネス課題の考察ができる				
評価基準	発表70%、授業態度や発言等の平常点30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	経営学Ⅰ・Ⅱ、マーケティングⅠ・Ⅱ、国際経営学Ⅰ・Ⅱ、時事研究Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	瀬下 弘基 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	卒業研究の目的と進め方について
2	テーマ設定について	テーマを設定する
3	発表の仕方について	発表の仕方を決定する

4	グループワーク①	グループで研究を進め、発表資料の作成、発表のプレゼンテーションをまとめる
5	グループワーク②	
6	グループワーク③	
7	グループワーク④	
8	グループワーク⑤	
9	グループワーク⑥	
10	グループワーク⑦	
11	学内発表（1回目）①	グループ毎に発表を行い、フィードバックを行う
12	学内発表（1回目）②	
13	学内発表（2回目）①	1回目の発表、フィードバックを受け2回目の発表を行う
14	学内発表（2回目）②	
15	振り返り	全体の卒業研究に対して振り返り、フィードバックを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	4	120
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	必要な社会人基礎力を身に付ける				
科目の基礎情報②	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考					
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	介護職員初任者		
必修選択	選択	(学則表記)	介護職員初任者		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	国際ビジネス科	3	90
使用教材	介護職員初任者研修テキスト 介護職員初任者研修課題集		出版社	三幸福祉カレッジ	

科目の基礎情報②

授業のねらい	介護の現場で働くうえで必要となる基本的な知識・技術・考え方を身につけ、利用者に対して適切な介護を提供できるようにする				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な介護を実践するために最低限必要な知識・技術を理解する 正しい知識とアセスメント結果に基づいた適切な介護技術の適用を理解する 自立支援や重度化防止の視点を持ち、利用者の潜在能力を引き出すことの重要性を理解する 				
評価基準	テスト60%、課題提出/平常点40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション/職務の理解	受講オリエンテーション/介護職の仕事内容や働く現場の理解/多様なサービスの理解
2	介護における尊厳の保持・自立支援 老化の理解	介護保険制度/人権と尊厳を支える介護/介護食の安全
3	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション/老化に伴うこころとからだの変化と日常
4	介護の基本	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活/家族の心理、かかわり支援の理解/介護の基本的な考え方
5	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護に関するこころのしくみの基礎的理解/介護に関するからだのしくみの基礎的理解
6		睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

7	生活支援技術の講義・演習	移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護
8		整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護
9		食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護
10		排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護
11		入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護
12		死にゆく人に関したところからだのしくみと終末期介護/移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護
13	生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解
14		総合生活支援技術演習
15	振り返り	振り返り/就業への備えと研修終了後におかえる継続的な研修/修了試験